

武蔵野教育學論集第3号：目次,扉,執筆要項,奥付

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-10-24 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://mu.repo.nii.ac.jp/records/635

武蔵野 教育学論集

第 3 号

目次

エストニアにおける教育の特質に関する研究 —PISA2015 の結果分析—	上岡 学	1
幼稚園教育要領および保育所保育指針の改訂に関する一考察 —家庭と地域に関する記述について—	榎田 二三子	9
学生による子供の歌指導案の考察(2) …… 市川礼子・小島弥寧子・駒宮典子・ 鈴木真理・高橋一行・田中ケアリー・原牧人		19
戦前の幼稚園における運動会の教育的意義に関する一考察 —保育雑誌『幼児の教育』の1930年代の記事から—	箕輪潤子	33
本学学生の音楽の基礎知識について—第2回目の調査による— 小佐野実穂・北谷久美子・櫻井佐多子・古市ゆり子・高牧恵里	伊坪千恵・ 高牧恵里	43
生活科における表現活動の意義	叶 雅之	51
「英語の授業は英語で」の考え方 —Oral Introduction を核とした授業構成の提案—	小菅和也	57
終戦直後に提起された「学校委員会」構想に関する考察	齋藤裕吉	69
明治後期の口語体と文語体の研究 —国定教科書と新聞の文末辞を中心に—	杉崎夏夫	81
新学習指導要領における保健体育科教育 —柔道指導の在り方—	堀米孝尚・神成真一	97
これからの時代に求められる教師像についての—考察—	山崎 淳	107
小学校社会科産業学習の授業改善 —空間論研究の成果を手がかりにして—	佐藤克士	113
保育及び児童教育に要する声から歌唱への実践と導き(その2) ……………市川礼子・駒宮典子・土田朋子		129
小学校理科における問題解決の能力と自己肯定感の育成 —実態調査の結果を基にした授業の改善—	樋口 昇	135
◆◆◆ ◆◆◆		
篆書・隸書学習の応用 —版木を用いた刻字制作と採拓—	金木和子	154
『書譜』の注釈1 —王羲之を典型とする四賢の優劣論について—	廣瀬裕之	164

武蔵野教育学論集 第三号 (2017)

武蔵野大学教育学研究所

THE BULLETIN OF MUSASHINO UNIVERSITY
 Faculty of Education
 No. 3
 CONTENTS

A Study of Estonian Education in PISA2015	UEOKA Manabu	1
A Study on Revision of “Course of Study for Kindergarten” & “Childcare Principles in Day Care Center”	ENOKITA Fumiko	9
An Examination of the Students’ Teaching Plans on Children’s Songs (2) ICHIKAWA Reiko / KOJIMA Mineko / KOMAMIYA Noriko / SUZUKI Mari / TAKAHASHI Kazuyuki / TANAKA Carrie / HARA Makito		19
Educational Significance of the Sports Day in the Prewar Kindergarten	MINOWA Junko	33
On the Students’ Basic Knowledge of Music in Our School: Based on the Second Survey ITSUBO Chie / OSANO Miho / KITATANI Kumiko / SAKURAI Satako / FURUICHI Yuriko / TAKAMAKI Eri		43
Meaning of Expression Activities in Living Environment Studies	KANO Masayuki	51
How to Conduct English Classes in English Using the Technique Called “Oral Introduction”	KOSUGE Kazuya	57
A Study of the School Committee Planned Immediately after the World War II in Japan	SAITO Yukichi	69
A Study of Spoken and Written Japanese Language Styles in Late Meiji Era: Focusing on Sentence-final Functional Morphemes in Newspapers and Government-designated Textbooks	SUGISAKI Natsuo	81
Health and Physical Education in the New Course of Study —How to Conduct Judo Classes Properly—	HORIGOME Takahisa / KANNARI Shinichi	97
A Study of the Model Teacher Demanded in Next Age	YAMAZAKI Atsushi	107
Improving Teaching Contents Learning about Industry in Social Studies at Elementary School: Based on the Results of the Space Theory	SATO Katsushi	113
Practice and Guidance to Sublimate from Voice Required for Nursing and Education of Children to Singing No.2	ICHIKAWA Reiko / KOMAMIYA Noriko / TSUCHIDA Tomoko	129
The Ability of the Problem Solving in Elementary School Science and Upbringing of Own Affirmative Sense —Improvement of the Science Class by the Actual Condition Survey—	HIGUCHI Noboru	135
◆◆◆ ◆◆◆		
Teaching Methods for the Ten-sho and Rei-sho Styles —Utilizing the Wooden Carvings and Takuhon Works Approach	KANEKI Kazuko	154
Annotation to <i>Shofu</i> 1: Wang Xizhi as the Four Great Calligraphers	HIROSE Hiroyuki	164

武蔵野教育学論集執筆要項

2013年10月10日制定

2016年7月14日改正

1 内容

- (1) 教育及び教職研究に関する学術論文
- (2) 教育学部所属教員の専門に関する学術論文
- (3) その他、編集委員会が認めたもの

2 投稿資格

学術論文に投稿できる者は、以下の者とする。

- (1) 教職研究センター員及び客員研究員
- (2) 教育学部専任教員
- (3) (1) または (2) を含む共同研究の場合は、他所属の研究者の執筆も可
- (4) 教職研究センターから依頼したもの
- (5) 大学院生
- (6) その他、編集委員会が認めた者

3 倫理規定

執筆に際しては他人の著作権の侵害、名誉毀損、データの捏造、人権の侵害等の問題を生じないように十分に配慮しなければならない。倫理的な配慮が必要とされる学術論文等については、投稿者が所属する機関等の「倫理審査委員会」で承認を得たものに限り、学術論文等の中において、その旨を明記しなければならない。なお、万一掲載された執筆内容が他者の著作権を侵害したと認められた場合、投稿者がその一切の責任を負うものとする。

4 公開

印刷冊子、および、武蔵野大学のホームページ上等で電子データとして公開する。

5 投稿方法

- (1) 投稿を希望する者は、指定された期日までに所定の「武蔵野大学教職研究センター紀要投稿申込書」を提出しなければならない。
- (2) 原稿は、指定された期日までに所定の書式で作成した完成原稿（紙面に打ち出したもの）とそのデータを提出しなければならない。
- (3) 写真や図表は鮮明なものを使用し、完成原稿中にその位置を明示すること。

6 投稿規定

- (1) 原稿は未発表のものに限る。
- (2) 原稿は1人1編に限る。但し、共同研究に関しては、編集委員会で審議する。
- (3) 原稿は、横書き及び縦書き両方可とし、題目に英訳を併記すること。
- (4) 字数等

① 字数

16,000字（注、図表、写真、その他、を含む）以内を原則とする。

*横書きの書式は、1ページ43字×38行とする。

*縦書きの書式は、1ページ30字×25行の2段組とする

* 図表、写真は適宜文字数に換算する。

* 図表、写真などが多いため他の原稿と比べて著しく費用がかかる場合、編集委員会は執筆者に負担を求めることができる。

②用語及び文体等

現代仮名遣いを原則とする。外国語を仮名書きにする場合は、カタカナとする。

③引用

引用や文献の参照については、細かく引用符や注を付け、剽窃を疑われないように細心の注意を払い、文献一覧のみではなく、引用・参照ページ等を特定できるようにしなければならない。引用書式については、個々の専門分野の学会誌などで使われているものに従う。

④見出し

* 横書きの場合、見出しに章や節は使用せず、番号をつける場合は、アラビア数字（1、2、3等）かローマ数字（I、II、III等）を使用する。

* 縦書きの場合、見出しに章や節は使用せず、番号をつける場合は、漢数字（一、二、三等）を使用することを原則とする。

⑤注

* 横書きの場合、注番号は1, 2, 3等の上付きとする。

例：【正】●●●●¹。

* 縦書きの場合、注番号は1, 2, 3等の数字をその該当部分（右横）にカッコをつけて記載する。

* 注は必要最小限にとどめ、多くならないようにする。

(5) 校正

原稿は完成原稿を提出するものとし、校正段階では最小限の字句の訂正にとどめるものとする。校正は原則として執筆者が行い、校正済みの原稿は、編集委員会が指定した期日までに必ず返却しなければならない。

7 掲載の採否・順序等

(1) 掲載の採否は、編集委員会が決定する。

(2) 編集委員会は、原稿の書き直しを求めることができる。

(3) 掲載順序などの編集は編集委員会が行う。

(4) 査読規定については、別に定める

(5) 執筆者には、紀要5部、別刷20部を無償で配布する。共同研究の場合も各執筆者に別刷20部ずつを無償で配布することを原則とする。それ以上の部数を希望する場合は、必要部数をあらかじめ編集委員会に申し込まなければならない。その場合、超過部数に関わる費用は執筆者の負担とする。

8 口絵として研究作品写真を掲載することができる。

(1) 研究作品は、原則としてその年度内に制作（展覧会等での発表を含む）したものとする。

(2) 研究作品の題名・制作年などを記し、鮮明な画像（写真又はデータ）を提出するものとする。

(3) 掲載の採否及び順序は、編集委員会が決定する。

9 その他

その他の事項については、編集委員会で決定する。

武蔵野教育学論集 第3号

2017年9月1日発行

編集 武蔵野教育学論集編集委員会

発行 武蔵野大学教育学研究所

〒202-8585 東京都西東京市新町1-1-20

電話 042-468-3290

印刷 株式会社 多摩デザイン

〒184-0012 東京都小金井市中町2-19-31

電話 042-384-2491
